

# 作業計画と実績

2016年1月5日現在

月日	曜日	予定 (12/21週間予定表より)		実績	
12月21日	月	Dynamic Surf 実験(3回目)	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・マトリョーシカ-R	Dynamic Surf 実験 (3回目)実施	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・マトリョーシカ-R
12月22日	火				
12月23日	水				
12月24日	木		○船外利用 ・宇宙環境計測ミ ッション(SEDA-AP) ・全天のX線天体の 監視(MAXI) ・簡易曝露実験装置 (ExHAM)を利用した 曝露実験		○船外利用 ・宇宙環境計測ミ ッション(SEDA-AP) ・全天のX線天体の 監視(MAXI) ・簡易曝露実験装置 (ExHAM)を利用した 曝露実験
12月25日	金		・高エネルギー電子、 ガンマ線観測装置 (GALET)の初期機 能確認		・高エネルギー電子、 ガンマ線観測装置 (GALET)の初期機 能確認
12月26日	土				
12月27日	日				

日付は日本時間 )

- 略語
- Dynamic Surf: 高プラントル数流体のマランゴニ振動流遷移における液柱界面の動的変形効果の実験的評価  
(代表研究者: 鴨谷康博 ケースウェスタンリザーブ大学 機械・航空宇宙工学部門 教授)
  - Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究  
(代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)
  - Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響  
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
  - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
  - マトリョーシカR: 国際共同宇宙放射線計測「マトリョーシカ-R球体ファントム実験」
  - SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
  - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置

## 「きぼう」利用の週間実績表

2016年1月5日現在

月日	曜日	イベント内容
12月28日	月	<p>[継続実施中]</p> <p>○船内利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Stem Cells実験(※冷凍・冷蔵庫(MELFI)にて実施中)</li> <li>・Space Pup実験(※冷凍・冷蔵庫(MELFI)にて実施中)</li> <li>・Area PADLES</li> <li>・マトリョーシカ-R</li> </ul> <p>○船外利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙環境計測ミッション(SEDA-AP)</li> <li>・全天のX線天体の監視(MAXI)</li> <li>・簡易曝露実験装置(ExHAM)を利用した曝露実験</li> <li>・高エネルギー電子、ガンマ線観測装置(CALET)の初期機能確認</li> </ul>
12月29日	火	
12月30日	水	
12月31日	木	
1月1日	金	
1月2日	土	
1月3日	日	

注: 日付は日本時間

注: 上記の予定は計画の見直しによって変更される可能性がある。

- 略語
- Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究  
(代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)
  - Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響  
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
  - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
  - マトリョーシカR: 国際共同宇宙放射線計測「マトリョーシカ-R球体ファントム実験」
  - SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
  - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置